

# 普及センター



# もいおか



第121号平成24年6月26日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

## 「食の匠」 技の交流会を開催

6月8日、雫石町農業指導センターにて、雫石町の食の匠で組織するしずくいし料理研究会「田舎料理グループ」と二戸地方の「カシオペア食の技研究会」による交流会が開催されました。交流会の目的は、技術や伝承手法のレベルアップを図ることとお互いの活動交換です。

実習では、雫石町の「南部かしわのおこわ」、「あずきまんま」、「田植え汁(サバ節と山菜の汁物)」、「鶯もち」、二戸地方の「へっちょこだんご」を調理し、それぞれの技の交換を行いました。その後、昔懐かしい朴葉に盛り付けた料理を試食しながら、活動についての意見交換を行いました。参加者は、活発に意見を交わし、お互いの食文化に触れることで、良い刺激となった様子でした。また、食の匠の技術や活動を地域の食育に生かしたいなど、今後の活動への積極的な発言が出されていました。普及センターでは、今後も「食の匠」の活動支援を通じて、食文化の発信活動の支援をしていきます。



## 大豆の放射性セシウムの吸収抑制対策について

大豆は土壌中の放射性セシウムを吸収しやすい作物とされており、国や県から、今年の作付について、特別な指導が求められています。大豆は土壌中のカリウムが不足すると放射性セシウムを吸収する傾向があることから、県では土壌100gあたりのカリウムの目標値を20mgから40mgに引き上げ、カリ資材の散布を新たに行うよう提案しました。

これをうけて、普及センターでは盛岡地方農業農村振興協議会の協力を得て、放射性セシウムの吸収抑制を目的とした「カリ資材投入実証ほ」を盛岡市玉山区と滝沢村に設置し、生育状況、子実の分析等を行って、放射性セシウムの吸収抑制効果を確認することとしています。管内の大豆が安心して消費者のみなさんに届けられるよう、生産者、関係機関が一体となって取り組んでいきます。



## 刈り払った畦畔草の取扱いの留意点

### ◎「その場に残置」する場合

- ①刈り払った畦畔草は、水田内へ投入しない。
- ②畦畔草が病気や害虫の発生源とならないよう、刈り払いは伸ばし過ぎないように、定期的に行う。

### ◎「集積してほ場で管理」する場合

- ①刈り払った畦畔草をシートで覆うなど、飛散しないように保管する。
- ②腐熟が進むと、減容して放射性物質濃度が高くなることも想定されるので、堆肥として圃場に施用する場合は必ず暫定許容値(400Bq/kg)以下であることを確認する。
- ③灰から高濃度の放射能物質が検出される事例もあるため、野焼きは自粛する。  
(やむを得ず焼却する場合は、灰が飛散したり、ほ場に流入しないように処分する。)



**放射能物質を拡散させないように適切に管理しましょう！**

## 《農産物生産における放射性物質影響防止対策》

平成 24 年 4 月から厚生労働省から示された新たな食品の規制値が適用され、消費者に対してより安全な農産物の提供が求められることになりました。

県では県内の実情に即した適切な生産管理が重要であるとして「放射性物質影響防止のための農作物生産管理マニュアル」を策定していますので、その内容を以下に紹介します(同マニュアルは県のホームページで公開)。

農作物の生産段階において、必要な取り組みを実施し、食品として安全な農産物の生産に努めましょう。

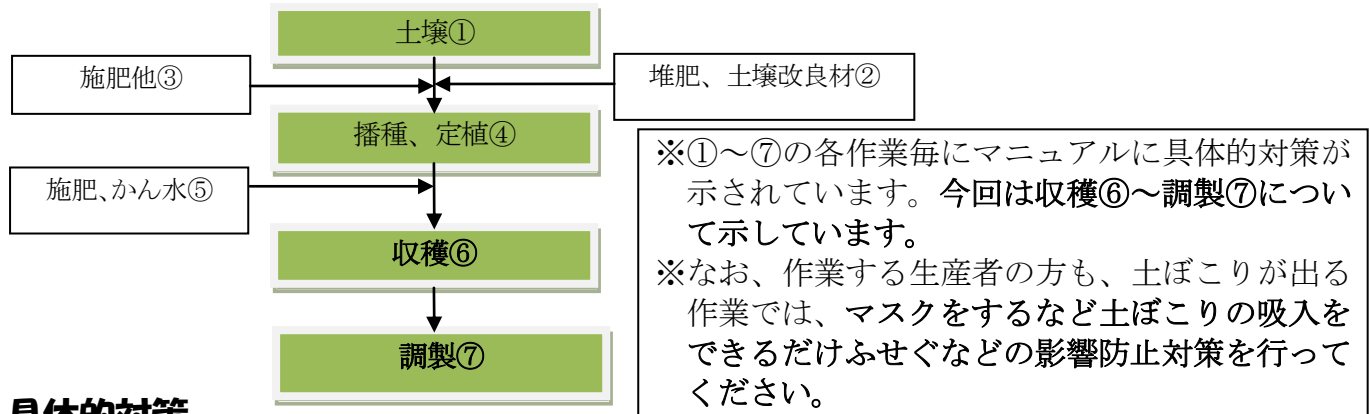
食品中の放射性セシウムの新たな規制値案(単位はベクレル/kg)

食品群	規制値
野菜類	500
穀類	500
肉・卵・魚・その他	500
牛乳・乳製品	200
飲料水	200

見直し	
食品群	規制値
一般食品	100
牛乳	50
飲料水	10
新設 乳児用食品	50

## 1. 農作物に対する放射性物質影響防止対策の概要



## 2. 具体的対策

### (1) 収穫⑥

- 収穫物や収穫に利用するはさみや手袋に土が付着しないように管理する。  
根菜類など土が付着しているものは、丁寧に洗浄を行う。  
収穫かご、コンテナなど収穫物を入れるものは洗浄して使用する。
- ※ 放射性セシウムは土壌に沈着しています。収穫物自体に放射性セシウムを含んでいなくても、土壌の付着によって放射性セシウムが検出されることがあります。

### (2) 調製⑦

- 調製台、選別機など、調製に使用する器具もきれいに洗浄し、土の付着を防ぐ。  
作業者は手を洗うほか、使用する手袋は汚れが見えたら交換するなどにより、土壌の付着を防ぐ。
- ※ 収穫物に土壌が付着するのを防ぐためです。